

2. 調査対象路線・対象エリアの選定

(1) 選定の考え方

県央地域公共交通利活用促進協議会の研究結果において、マイカー利用者の意識転換策を実施していく際には、一定水準の公共交通の運行レベルがある路線の沿線地域で、マイカーから公共交通に乗り換える「動機(目的)」を提供することにより、その実施効果が期待できるとされている。

従って、本調査におけるマイカー利用者の意識転換策についても、マイカーから乗り換える交通手段が利用しやすい地域、すなわち、一定水準の公共交通の運行レベルがある地域の路線を「調査対象路線」として実施する。

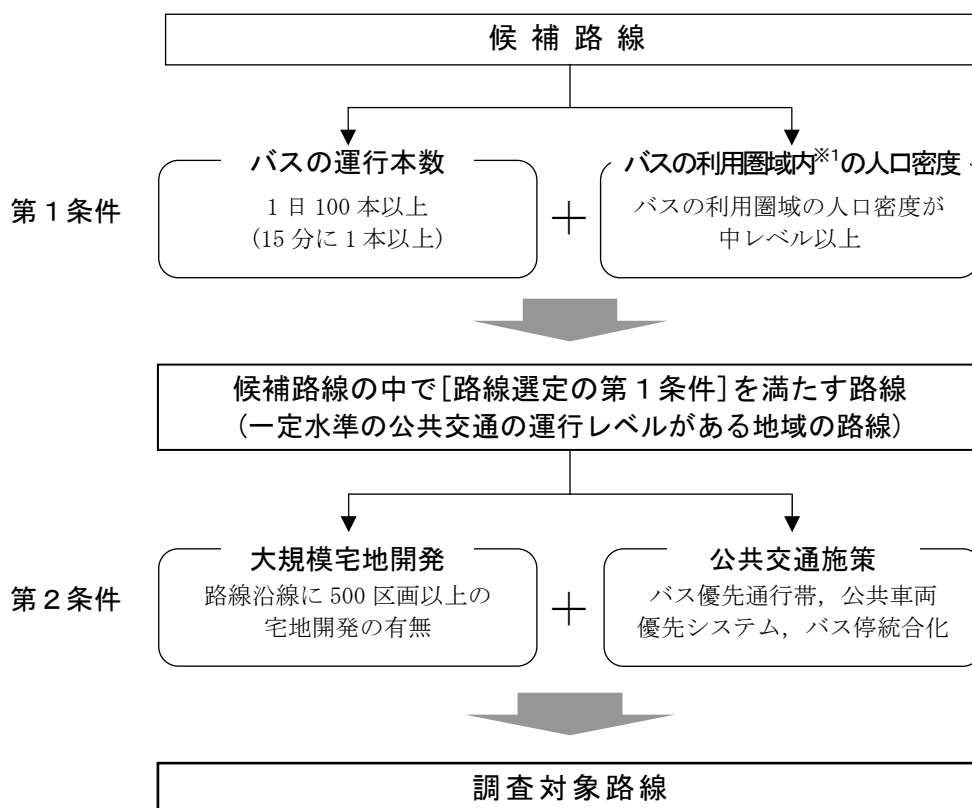
また、調査対象路線を選定するにあたり、まず、市内の主要道路を運行するバス路線を「候補路線」と位置づけ、その中から選定基準を満たす1路線について「調査対象路線」と位置づける。

【 調査対象路線選定の手順 】

①「候補路線」の現況整理 : 市内の主要道路を運行するバス路線を「候補路線」とし、沿線の人口密度や路線バスの運行状況等を整理した上で選定基準と照合する

②「調査対象路線」の選定 : 「候補路線」の中で選定基準を満たしている等、条件が揃っており本調査を実施する上で最も適当な路線を選定する

【 調査対象路線選定の考え方 】

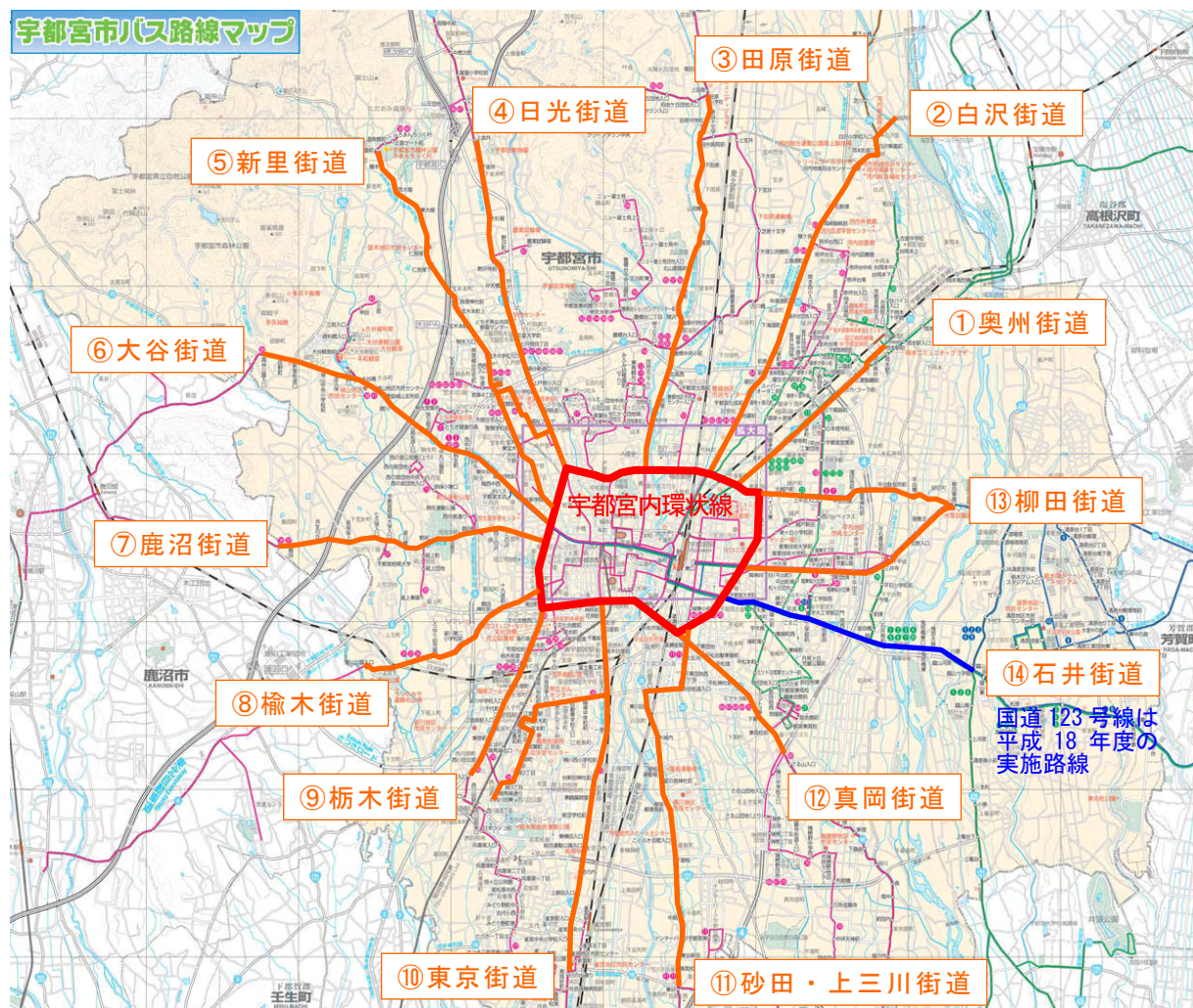


※1 バスの利用圏域：誰もがバスを無理なく利用できる範囲としてバス停から半径250mとする。

(2) 候補路線の選定

市内バス路線の運行状況等を整理した結果から、以下の主要道路を運行するバス路線を「候補路線」と位置づける。

【「候補路線」位置図】



【「候補路線」一覧表】

路線名称(通称・路線名)	
① 奥州街道(宇都宮烏山線, 国道4号)	⑧ 榆木街道(市道1524線)
② 白沢街道(氏家宇都宮線)	⑨ 栃木街道(宇都宮栃木線)
③ 田原街道(藤原宇都宮線)	⑩ 東京街道(国道4号, 国道119号)
④ 日光街道(国道119号)	⑪ 砂田街道・上三川街道(二宮宇都宮線他)
⑤ 新里街道(大沢宇都宮線)	⑫ 真岡街道(宇都宮真岡線)
⑥ 大谷街道(宇都宮今市線)	⑬ 柳田街道(宇都宮向田線)
⑦ 鹿沼街道(宇都宮鹿沼線)	⑭ 石井街道(国道123号)

(3) 調査対象路線の選定

前項で示した「候補路線」の中から、下記の路線選定の根拠(基礎資料)と併せた選定条件を用いることで、調査対象路線を決定する。なお、基礎資料については、次項以降(P9～P12)を参照とする。

【 基礎資料 】

- ①人口密度の分布状況：バスの利用圏域と人口密度分布状況
(バスの利用圏域と高人口密度の重なる路線を抽出する)
- ②路線バスの運行状況：バスサービス水準(バス運行本数)の状況
(一定水準の運行レベルがあるバス路線を抽出する)
- ③バス路線沿線の状況：大規模宅地開発地区の分布状況
(500区画以上の宅地開発地区を抽出する)
- ④公共交通施策の状況：公共交通施策の導入状況
(バス優先通行帯などが導入されている路線を抽出する)

【 調査対象路線の選定条件 】

[路線選定の第1条件]

- 基準1：バスの運行本数が1日100本以上(概ね15分に1本以上のサービス水準)
- 基準2：バスの利用圏域内の居住人口の水準が「中」程度以上の人口密度

[路線選定の第2条件]

- 基準3：個人を対象とした意識転換策の効率的な実施が見込まれる人口が集中する地域として、500区画以上の大規模宅地開発がバス路線上に含まれる
- 基準4：公共交通施策が実施されバスの利用環境が比較的良好な路線として、バス優先通行帯、公共車両優先システム(PTPS)、バス停統合化等が実施されている

[選定基準について]

選定理由のポイント	選定理由	選定基準
1) 潜在的なバス利用者の有無	人口密度 *バス停から半径250m圏域の人口分布状況(H17国勢調査)	多, 中
	大規模宅地開発 *対象路線付近の大規模宅地開発(500区画以上)の有無	有
2) 一定以上のバス運行レベル (利用転換するための高いサービス水準を有す路線)	バス運行本数 *対象路線を運行するバス本数状況(各バス事業者データ)	100(本/日)以上 1(本/15分)以上の運行本数
3) 公共交通施策の実施に伴うバス利用の促進が図られる路線	公共交通施策の実施	バス優先通行帯, 公共車両優先システム(PTPS), バス停統合化

【「候補路線」の選定基準との照合結果】

路線名称 (通称・路線名)	選定理由				
	人口密度	バス運行本数	沿線宅地開発	公共交通施策	選定基準の該当数
①奥州街道(宇都宮烏山線, 国道4号)	低	114	無		1
②白沢街道(氏家宇都宮線)	中	112	有	優先, PTPS	4
③田原街道(藤原宇都宮線)	中	206	有		3
④日光街道(国道119号)	中	344	無	優先	3
⑤新里街道(大沢宇都宮線)	低	112	無		1
⑥大谷街道(宇都宮今市線)	中	524	無	優先	3
⑦鹿沼街道(宇都宮鹿沼線)	中	182	有		3
⑧楡木街道(市道1524線)	低	36	無		0
⑨栃木街道(宇都宮栃木線)	中	220	無		2
⑩東京街道(国道4号, 国道119号)	多	224	有	優先	4
⑪砂田・上三川街道(二宮宇都宮線他)	低	20	無		0
⑫真岡街道(宇都宮真岡線)	低	72	有		1
⑬柳田街道(宇都宮向田線)	低	38	有		1
⑭石井街道(国道123号)	中	310	無	優先, バス停統合	3

※宇都宮内環状線の外側を対象に調査

「候補路線」の中で，“②白沢街道”，“⑩東京街道”は全ての選定基準を満たしており，ともに本調査の対象路線として適当と考えられる。

現在，“②白沢街道”では，バスの定時性を確保し，マイカーからバス利用への転換を促すため「公共車両優先システム(PTPS)」が導入(平成17年3月)されており，バスの利便性向上に併せた利用促進が求められている。従って，PTPS導入に併せたバス利用促進策の必要性を考慮し“②白沢街道”を本年度の「調査対象路線」に選定する。

【調査対象路線の決定】

